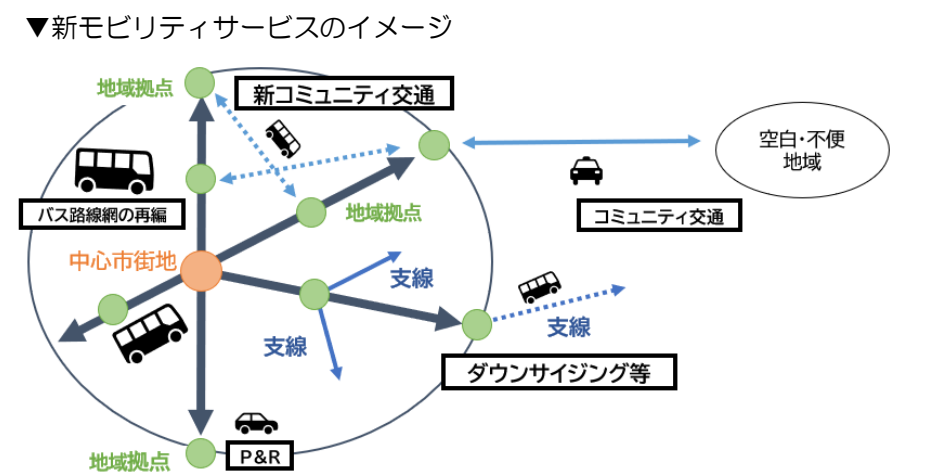


1-1. 新モビリティサービス推進経費（新しい交通手段の検討）

○公共交通ネットワーク全体を維持しながら効率化を図るため路線バスの代替としての最適な交通手段の検討や費用対効果の検証等を行う



1-2. 新モビリティサービス推進経費（MaaS）

○MaaSは、公共交通のシームレス化による利便性向上、観光や商業等に関する地域課題解決への寄与が期待される
○令和3年度は交通事業者や関係団体等と連携し協議会を設置し、熊本に最適な“熊本版MaaS”の導入に関して方向性を整理



▲MaaSにより課題解決が期待される主な項目（国交省HP掲載の図を一部編集）

2. バス交通運行効率化関係経費（共同経営など）

○令和2年度の主な取組

- <本市実施事項>
- ・まちなかループバスの導入検討
 - ・共同経営に関する準備支援（検討・協議、財政支援）
- <共同経営関係 事項>
- ・共同経営準備室の設置
 - ・共同経営計画（第1版）の策定
 - ・路線バスのデータ公表
 - ・新サービスの検討 など

○令和3年度の主な取組

- <本市実施事項>
- ・まちなかループバスの運行（事業主体：本市）
 - ・共同経営に関する支援（検討・協議、財政支援）
- <共同経営関係 事業>
- ・共同経営計画（第2版）の策定
 - ・100円の日の実施
 - ・新サービス（会費＋割引）の実証実験 など

【参考：重複区間の最適化】 出典：共同経営計画（第1版）

旧3号線

九州産交バスが運行

九州産交バス株式会社
産交バス株式会社

移譲

川尻市道

九州産交バスが運行

九州産交バス株式会社
熊本バス株式会社

移譲

産業道路・国体道路

熊本都市バスが運行

熊本都市バス株式会社
九州産交バス株式会社

移譲

旧57号線

2社が共同運行

九州産交バス株式会社
熊本電鉄

協調

左記最適化により、利便性の維持向上と運行の効率化を推進

※ 3月：認可申請、4月：実施予定